

第 29 回 山口県地質調査業協会 技術講習会プログラム

『技術の最前線 研究と現場がつながる時』

令和 8 年 9 月 4 日（金）

1. 開会挨拶（9：50～10：00）

山口県地質調査業協会 会長 鶴田 泰徳

2. 基調講演（10：00～10：35、質疑応答 5 分を含む）

（1）「山陰道（俵山・豊田道路）における関門層群への対応について」

国土交通省 中国地方整備局 山陰西部国道事務所 工務課長 三浦 裕寿

3. 一般講演

（1）「ローカル LLM を活用したコア写真判定の精度向上アプローチ」

（10：35～11：00、質疑応答 5 分を含む）

（株）宇部セントラルコンサルタント 技術部調査環境課 前田 直樹・岩本 大樹

（休憩 10 分）

（2）「補強土壁による補強メカニズム解明に向けたアルミ棒積層体の引抜き実験」

（11：10～11：35、質疑応答 5 分含む）

山口大学 工学部 社会建設工学科 入澤 樹

（3）「ボーリング孔を利用した孔内カメラの観察事例および一考察」

（11：35～12：00、質疑応答 5 分含む）

（株）山口建設コンサルタント調査部 地質調査課 豊島 礼士

（4）「四万十付加体の浅部領域に発達する巨大 Out-of-Sequence thrust の構造とすべり様式」

（12：00～12：25、質疑応答を含む）

山口大学 理学部 大学院（修士 1 年）黒田 奏宇

大学会館 2 階小ホール （パネルディスカッション 40 分、昼食休憩 50 分）

4. ブース出展企業テーマ（パネルディスカッション）

- ① 芦森工業株式会社「地下水の効率的な排水性と土砂の吸出し抑制効果を併せ持つ織物製のドレーン」
- ② 株式会社 E プラス「最先端の地球にやさしい多機能固化材」
- ③ 株式会社オサシ・テクノス「IoT・無線技術を活用した省力型モニタリング技術」
- ④ 株式会社キンシュウ「将来の資材運搬について」
- ⑤ 五大開発株式会社「土質定数の整理・集計・活用を標準化」
- ⑥ 東京製綱株式会社「落石・崩壊土砂対策製品のご紹介」
- ⑦ 日特建設株式会社「見えない地下にアプローチ（地盤改良技術・斜面防災技術）」
- ⑧ 株式会社扶桑工業「ボーリングツールズについて」

5. 一般講演

（5）「地震地すべりを再現したリングせん断試験による礫混じり粘土の挙動」

（13：55～14：20、質疑応答 5 分含む）

山口大学工学部 社会建設工学科 宮本 寛太

（6）「現場と育児のあいだでバタバタしながら学んでること」

（14：20～14：45、質疑応答 5 分含む）

（株）ケイズラブ 徳久 晶

（7）「中央構造線沿いの安山岩の定置過程と熱履歴」

（14：45～15：10、質疑応答 5 分含む）

山口大学 理学部 大学院（修士 2 年）白井 大地

(8)「地質調査業務の事例紹介」

(15 : 10～15 : 35、質疑応答 5 分含む)

中国水工 株式会社 設計調査部 中原 孝生

(休憩 10 分)

6. 基調講演 (15 : 45～16 : 45、質疑応答 5 分含む)

(2)「化石燃料が森を育てた」

山口大学 大学院創成科学研究科 教授 坂口 有人

7. 講評 (16 : 45～17 : 00)

山口県地質調査業協会 委員長 鬼村 雅和

演題につきましては確定していないものもあり、今後変更がございますことをご承知おきください。

8. 意見交換会 (18 : 30～)

講習会終了後、湯田温泉かめ福オンプレイスにて意見交換会を予定しております。